

◎ 人生会議 (第2幕) ◎ ～思いを伝え共有する～

あなたの思いを伝えておくことはとても重要です。このパンフレットを活用して、ご家族や親しい友人、かかりつけ医などに、あなたの思いや考えを伝えておきましょう。わからない事などがあれば、専門家に相談してみるのも良いでしょう。



平野区はあなたの

家族や仲間と一緒に話し合う

人生会議 (ACP)

を推進します

◎ 人生会議 (第3幕) ◎ ～見直す、書き加える～



希望や思いは、時間の経過や健康状態によって変化していくものです。書き留めたものをそのままにせず、繰り返し、見直して書き加えていきましょう。

あなたの「人生会議」を支える人々



家族・親戚



親しい友人



ケアマネジャー



医療従事者



介護従事者



法律家

延命治療ってなに？

延命治療とは、衰弱や病気などで生命の維持が難しい方に対して、回復ではなく「延命」を目的に治療することです。呼吸のサポートをしたり、栄養や薬などを投与したりすることで生存時間を延ばします。ご本人が、自力での生命維持が難しくなったときに、ご家族が延命治療の選択を急に迫られるケースは少なくありません。



本日のテーマ ACP
人生会議



- 将来はどこに住む？
- 介護は誰にお願いする？
- 資産はどうする？
- 延命治療って何？

いまだからできる・・・
今とりくんでおこう！

「人生会議」とは、これからの人生をどう生きるのかを考える「あなた自身の会議」です。医療・介護・住まい・お金のこと等年齢問わず、誰にも必要な「人生会議」この機会に一緒に考えてみましょう！



私たちも応援します

「人生会議 (ACP)」をもっと知りたい

人生会議についてもっと知りたい方は、厚生労働省ホームページをご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



発行：平野区在宅医療ケアネットワーク委員会・平野区役所
お問合せ：平野区役所保健福祉課(地域保健)32番窓口

TEL 06-4302-9882



令和7年2月発行

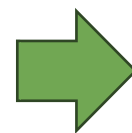


なぜ人生会議が必要なの?(事例)



58歳 Aさんのケース (妻と2人暮らし:息子は別居)

持病があるAさん。ある時、自宅で倒れてしまい救急搬送。しゃべることができず、体も動きません。病院では延命治療を聞かれましたが、妻や息子は、Aさんと重い病気になったとき、どうするかを話し合っておらず、本人の気持ちを聞くこともできず大変困ってしまいました。



人生会議をしていた場合

Aさんと妻・息子は万が一のことがあった場合のことを、以前からよく話し合っていました(人生会議)。Aさんの希望する治療、療養の場所について書き留めていたことを思い出し、他の親族や医師、ケアマネジャーと一緒に考えることができました。



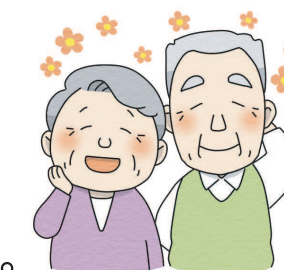
72歳 Bさんのケース (妻と2人暮らし)

とてもやさしくしっかりしたBさん。定年退職後は夫婦で仲良く暮らしていました。Bさんには少しずつ物忘れがでていましたが、妻は「気にしたらかわいそう」と、物忘れを伝えず生活を継続。しかしBさんの物忘れは進行。妻が受診を勧めるとBさんは怒ってしまいます。どうすればいいのか・・・。



人生会議をしていた場合

夫婦は、「認知症かもと気づいた場合は、互いに伝え合い、早めに受診に行こう」と話し合っていました(人生会議)。Bさんに物忘れが出てきた時、一緒に受診に行くと、早期認知症と診断。薬剤処方を受けつつ、2人で今後の生活を早くから話し合うことができました。



◎ 人生会議(第1幕) ◎ まずは今の気持ちを書き留めましょう(ご家族と一緒に考えてもよいです)

記載日 R 年 月 日
更新日 R 年 月 日

生活の場所
もしも病気で身体が不自由になったら、どこで過ごしたいですか?

- 自宅
- 娘や息子、兄弟の家
- 病院などの医療機関
- 老人ホームなどの施設

あなたの代弁者
あなたの気持ちを伝えてくれる人は誰ですか?

- 家族
- 友人
- 代理人
- その他 ()
- 医師
- 看護師
- 介護関係者

大切に思う事
あなたが大切にしていること(思い)を書いてみましょう

(楽しみ・生きがい・気がかりなこと等)

資産のこと
もしもの時、資産は誰に(どのように)管理してもらいたいですか?また、将来どうしたいと考えていますか?

- ◎預貯金⇒
- ◎家や不動産⇒
- ◎有価証券等⇒

医療への考え
もしも大きな病気になったらどんな治療を受けたいですか?

- 一日でも長く生きられる医療
- 病気の完治を目指した医療
- 治る見込みが少ないならば治療は希望しない
- 痛みをやわらげ、これまでの生活を大切にしたい治療
- できるだけ自然な最期になるような必要最低限の治療

メモ